



2021年度 技術者継続教育「先進コース」講習会開催案内 《機関室プラント設計》

協 賛：計測自動制御学会，自動車技術会，精密工学会，ターボ機械協会，電気学会，日本エネルギー学会，日本機械学会
(予定) 日本航海学会，日本材料学会，日本船舶海洋工学会，日本トライボロジー学会，日本造船工業会，日本中小型造船工業会，日本船用工業会，日本内燃機関連合会，日本陸用内燃機関協会

1. 目的

マリンエンジニアリングに関わる技術者の諸問題等への対処能力向上のための技術者継続教育プログラムの一環として，専門知識を習得・応用することを目的としたセミナーです。「先進コース」《機関室プラント設計》では，船舶の機関室のディーゼル主機関，発電機関を含む各種補機類の選定方法，機関室内での配置，配管等の設計と実際について紹介，解説する。各専門分野の最前線でご活躍の方々を講師に迎えて，2日間の講義を行います。

2. 対象者

本講習会は，ディーゼル機関の設計，開発，製造，据付，運転，品質，アフターサービス等のいろいろな局面に関わる技術者(入社10年程度)を対象にしています。講義内容は，船舶機関室内のディーゼル主機関，発電装置，各種補機類等の選定，配置，配管等の計画，艦装に関する講義で，ディーゼル機関メーカ，船用機器関連メーカ，造船所，船社(運航管理会社)等の技術者の方々にとって有益な講義内容となっております。

3. 参加方法

「会場での対面+“後日”録画オンデマンド視聴」による講義を計画しております。新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては，「Live配信+“後日”録画オンデマンド視聴」に変更する場合があります。

4. 参加登録

当学会のWEBサイト(<https://www.jime.jp>)からお申込ください。

5. 定員

20名。定員に達し次第，締め切ります。

6. 受講料

正会員：20,000円
維持会員及び協賛団体所属の非会員並びに協賛学協会会員：30,000円
非会員：50,000円

7. 開催日程等

開催場所	開催日	時間	講義題目	講師(敬称略)
岡山国際交流センター(会場での対面)+“後日”録画オンデマンド視聴	令和3年 11月25日 (木)	11:00~12:30	機関部プラント計画 その1	大谷 紳一 (元, 川崎重工業)
		13:30~15:00	機関部プラント計画 その2	中村 健一 (三井E&S造船)
		15:15~16:15	機関部プラントバリエーション その1 メインテナンス低減システム	岡下 友則(住友重機械マ リンエンジニアリング)
		15:30~17:30	機関部プラントバリエーション その2 省エネルギーシステム	小林 敬明 (日本シッパード)
又は Live配信+“後日” 録画オンデマンド 視聴 (新型コロナ感染症の状況によりま す。)	令和3年 11月26日 (金)	09:00~10:30	機関室諸管系統図の基本と実際 (その1)	木田 隆之 (日本シッパード)
		10:45~12:15	機関室諸管系統図の基本と実際 (その2)	辛島 淳一郎 (大島造船所)
		13:15~14:45	機関室配置基本計画	中本 祐介 (日本シッパード)
		15:00~16:30	機関室詳細配置設計	玄馬 知昇 (新来島サノヤス造船)

※ プログラム及び講義概要(シラバス)の最新情報は当学会 WEB サイト(<https://www.jime.jp>)でご確認ください。

8. 特記事項

- ・受講者には科目ごとに課題を出題し，レポートを提出していただきます。受講者全員に履修記録を交付します。また，合格者には修了証を交付します。
- ・受講者へ規定のCPDポイントを付与します。CPDポイントについてはホームページ(<https://www.jime.jp>)の「CPDポイント制度」をご参照ください。当学会会員は，取得ポイントも確認できます。
- ・一部の講義のみを受講することはできません。
- ・本企画は，技術者継続教育検討委員会で立案しました。
- ・ご不明の点がありましたら学会事務局までお問い合わせください。
- ・受講の申込者数が少ない場合には，開講を延期することもあります。

今年度の「先進コース」は，次の3カテゴリーを開催します。

《機関室プラント設計》……………令和3年11月25・26日
《振動・騒音》……………令和3年12月16・17日
《海洋環境規制の動向とその対応技術》……………令和4年01月20・21日



2021年度 技術者継続教育「先進コース」講習会開催案内 《振動・騒音》

協賛：計測自動制御学会，自動車技術会，精密工学会，ターボ機械協会，電気学会，日本エネルギー学会，日本機械学会（予定）日本航海学会，日本材料学会，日本船舶海洋工学会，日本トライボロジー学会，日本造船工業会，日本中小型造船工業会，日本舶用工業会，日本内燃機関連合会，日本陸用内燃機関協会

1. 目的

マリンエンジニアリングに関わる技術者の諸問題等への対処能力向上のための技術者継続教育プログラムの一環として，専門知識を習得・応用することを目的としたセミナーです。この「先進コース」《振動・騒音》は，船舶における振動・騒音に関する実態，事例，対策，船級規格，計測法の解説を各専門分野で御活躍の講師を迎えて，2日間の講義を行うものです。

2. 対象者

本講習会は，ディーゼル機関の設計，開発，製造，据付，運転，品質，アフターサービス等のいろいろな局面に関わる技術者(入社10年程度)を対象にしています。講義内容は，船舶機関室内のディーゼル主機関，発電装置，各種補器類等の選定，配置，配管等の計画，艙装に関する講義で，ディーゼル機関メーカー，舶用機器関連メーカー，造船所，船社(運航管理会社)等の技術者の方々にとって有益な講義内容となっております。

3. 参加方法

「会場での対面+“後日”録画オンデマンド視聴」による講義を計画しております。新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては，「Live配信+“後日”録画オンデマンド視聴」に変更する場合があります。

4. 参加登録

当学会のWEBサイト(<https://www.jime.jp>)からお申込ください。

5. 定員 20名。定員に達し次第，締め切ります。

6. 受講料

正会員：20,000円

維持会員及び協賛団体所属の非会員並びに協賛学協会会員：30,000円

非会員：50,000円

7. 開催日程等

開催場所	開催日	時間	講義題目	講師(敬称略)
新大阪丸ビル別館 (会場での対面)+ “後日”録画オン デマンド視聴	令和3年 12月16日 (木)	13:30~15:00	中・高速機関の振動・騒音	平井 一貴，富田 展久 (ヤンマーパワーテクノロ ジー)
		15:15~16:45	大形低速2サイクルディーゼル機 関の振動・騒音	西山 徹 (川崎重工業)
		17:00~18:00	舶用推進軸系の振り振動	光清 智洋 (三井E&Sマシナリー)
又は	令和3年 12月17日 (金) (新型コロナ感染症の状況によりま す。)	09:00~10:30	吸遮音性能予測のための基礎知識	中川 博(日本音響エンジ ニアリング)
10:45~12:15		船体振動	遠山 泰美 (元，東海大学)	
13:15~14:45		軸系ねじり振動に関する船級規則 と損傷事例	工藤 大樹 (日本海事協会)	
15:00~16:30		船舶の騒音低減技術	修理 英幸 (元，東海大学)	

※ プログラム及び講義概要(シラバス)の最新情報は当学会WEBサイト(<https://www.jime.jp>)でご確認ください。

8. 特記事項

- ・受講者には科目ごとに課題を出題し，レポートを提出していただきます。受講者全員に履修記録を交付します。また，合格者には修了証を交付します。
- ・受講者へ規定のCPDポイントを付与します。CPDポイントについてはホームページ(<https://www.jime.jp>)の「CPDポイント制度」をご参照ください。当学会会員は，取得ポイントも確認できます。
- ・一部の講義のみを受講することはできません。
- ・本企画は，技術者継続教育検討委員会で立案しました。
- ・ご不明の点がありましたら学会事務局までお問い合わせください。
- ・受講の申込者数が少ない場合には，開講を延期することもあります。

今年度の「先進コース」は，次の3カテゴリーを開催します。

《機関室プラント設計》……………令和3年11月25・26日
《振動・騒音》……………令和3年12月16・17日
《海洋環境規制の動向とその対応技術》……………令和4年01月20・21日



2021年度 技術者継続教育「先進コース」講習会開催案内 《海洋環境規制の動向とその対応技術》

協賛：計測自動制御学会，自動車技術会，精密工学会，ターボ機械協会，電気学会，日本エネルギー学会，日本機械学会
(予定) 日本航海学会，日本材料学会，日本船舶海洋工学会，日本トライボロジー学会，日本造船工業会，日本中小型造船工業会，日本船用工業会，日本内燃機関連合会，日本陸用内燃機関協会

1. 目的

マリンエンジニアリングに関わる技術者の諸問題等への対処能力向上のための技術者継続教育プログラムの一環として，専門知識を習得・応用することを目的としたセミナーです。「先進コース」《海洋環境規制の動向とその対応技術》では，地球温暖化と気候変動条約及び国連のIMO 3次規制に関わる規制とそれぞれの対応技術に関連する専門知識について，各専門分野の最前線でご活躍の講師を迎えて，2日間の講義を行うものです。

2. 対象者

本講習会は，ディーゼル機関の設計，開発，製造，据付，運転，品質，アフターサービス等のいろいろな局面に関わる技術者(入社10年程度)を対象にしています。講義内容は，船舶機関室内のディーゼル主機関，発電装置，各種補器類等の選定，配置，配管等の計画，艙装に関する講義で，ディーゼル機関メーカー，船用機器関連メーカー，造船所，船社(運航管理会社)等の技術者の方々にとって有益な講義内容となっております。

3. 参加方法

「会場での対面+「後日」録画オンデマンド視聴」による講義を計画しております。新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては，「Live配信+「後日」録画オンデマンド視聴」に変更する場合があります。

4. 参加登録

当学会のWEBサイト(<https://www.jime.jp>)からお申込ください。

5. 定員 20名。定員に達し次第，締め切ります。

6. 受講料

正会員：20,000円

維持会員及び協賛団体所属の非会員並びに協賛学協会会員：30,000円

非会員：50,000円

7. 開催日程等

開催場所	開催日	時間	講義題目	講師(敬称略)
東京海洋大学越中島会館(会場での対面)+「後日」録画オンデマンド視聴	令和4年 1月20日 (木)	13:00~14:30	ディーゼル排ガスと海洋環境	塚本 達郎(東京海洋大学)
		14:45~16:15	地球温暖化予測と海	鬼頭 昭雄(気象業務支援センター)
		16:30~18:00	諸外国における船舶に関わる大気汚染施策の動向	小林 喜美頼(ヤンマーパワーテクノロジー)
又は Live配信+「後日」録画オンデマンド視聴 (新型コロナウイルス感染症の状況により異なります。)	令和4年 1月21日 (金)	09:00~10:30	船舶の温室効果ガス削減対策と対応技術	前田 直樹(日本海事協会)
10:45~12:15		硫黄分(S)規制とその対応技術	深谷 一郎(三菱化工機)	
13:15~14:45		窒素酸化物(NOx)対応技術(4-st機関)	田貝 哲哉(IHI原動機)交代か?	
		15:00~16:30	窒素酸化物(NOx)対応技術(2-st機関)	森山 功治(IHI原動機)

※ プログラム及び講義概要(シラバス)の最新情報は当学会WEBサイト(<https://www.jime.jp>)でご確認ください。

8. 特記事項

- ・受講者には科目ごとに課題を出題し，レポートを提出していただきます。受講者全員に履修記録を交付します。また，合格者には修了証を交付します。
- ・受講者へ規定のCPDポイントを付与します。CPDポイントについてはホームページ(<https://www.jime.jp>)の「CPDポイント制度」をご参照ください。当学会会員は，取得ポイントも確認できます。
- ・一部の講義のみを受講することはできません。
- ・本企画は，技術者継続教育検討委員会で立案しました。
- ・ご不明の点がありましたら学会事務局までお問い合わせください。
- ・受講の申込者数が少ない場合には，開講を延期することもあります。

今年度の「先進コース」は，次の3カテゴリーを開催します。(オンライン講習会)

《機関室プラント設計》……………令和3年11月25・26日

《振動・騒音》……………令和3年12月16・17日

《海洋環境規制の動向とその対応技術》……令和4年01月20・21日